

令和2年度 6年コース6学年 5月6日(水)までの学習課題

教科	科目	Sクラス		Hクラス	
		理系	文系	理系	文系
国語	現代文	・「文学の未来」を読んで学習課題集をやること。		・「日本人の美意識」を読んで学習課題集をやること。 ・「藤野先生」を読んで学習課題集をやること。	
	古典	クラッシーやホームページに記載の問題を解いたうえで、p138・139枕草子「宮に初めて参りたるころ」第一段落の現代語訳をもう一度見直し、訳を完成させること。第一段落の本文、現代語訳、内容理解質問、文法など、ホームページ上の指示はすべて満たすこと。			
	国語演習	パーフェクト演習p12～17(調べてすべて埋める)			
地歴公民	世界史B	チェックリストp78～83			
	日本史B	Classiより課題配信(4月28日) ノートに番号・解答を書き、答え合わせまですること。			
	地理B	パワーアップP133～138(教科書P242～246参照)			
	倫理		classiより授業動画配信 (4月28日3限終了後に倫理グループに配信します)		classiより授業動画配信 (4月28日3限終了後に倫理グループに配信します)
	政治経済		政治経済ノートp72～p73㉔		政治経済ノートp71
数学	数学	積の導関数と商の導関数のプリント 数ⅠA、ⅡBの総復習プリント	○ニュースタANDARD P79, P81 ○Classiで配信される問題	○ニュースタANDARD P76(155, 156, 157, 158) P78(163, 164, 165, 166) P80(171, 172, 173) ノートに写して解答すること。 ※数学Ⅲの授業としての課題 ○Classiで配信された問題	○Classiで配信される問題 (配信済) ⇒提出用ノートに解いてくださいな。
理科	化学(理系)	注意:範囲1の問題は定期試験の範囲となる。 方法:演習ノート(4/13～4/19の課題を行ったノート)に、下の範囲1(必須課題)と範囲2(受験のための任意課題)の問題を取り組み、丸付けやり直しを行う。 範囲1(必須課題) ① [NG] P.77の111 ② [教科書] P.186の問7, P.192の章末問題の5 ③ [Classiで配布したPDFファイルの問題] 希ガスと水素と周期表の問題1～6 ● 問題のファイル名「6年化学4月29日～5月6日の課題(必須課題)」 ● 解説のファイル名「6年化学4月29日～5月6日の課題(必須課題)の解説」 ※ [NG]と[教科書]の問題は、WEB授業で任意課題として提示しており、すでに取り組んでいる生徒はもう一度取り組んでも、行わなくてもよい。 ※ [Classiで配布したPDFファイルの問題]の問題の内容は5/7のWEB授業で扱うので、その後に行ってもよい。 範囲2(受験のための任意課題) ① 苦手分野を克服するために、[NG]P.4～P.79までの問題を数題取り組む。 ※ 取り組む問題の数は皆さんの自主性に任せる。自分の進路の目標や実現をしっかりと考えて行うこと。			
	物理	リードα3章力のつり合い・4章運動の法則・6章仕事と力学的エネルギーいずれもリードCを完全に仕上げる。		フォローアップドリル物理 波 p2～p31	
	生物(理系)	リードα生物基礎+生物 生物 第2・3章 リードC すべて		リードα生物基礎+生物 生物 第2・3章 リードC すべて	
	理科演習 化学		つかむ生物基礎 P.5～15 (問題集にやってもノートにやってもどちらでもよい)		つかむ生物基礎 P.5～15 (問題集にやってもノートにやってもどちらでもよい)
	理科演習 生物				
英語	コミュ英	MY WAY WORK BOOK ADVANCED P4 Reading Skill 1. Greeting in the World ～ P47 入試にチャレンジ2 をワークブックにやる。 締め切り:最初の授業 ※classi配信プリントを参考にし、本文への書き込み、答え合わせをすること。			
	英表	英文法・語法問題1000 P4～P7 1. 動詞の語法(1) P8～P12 2. 動詞の語法(2) ※スタディ・ポイントをしっかりと読み、理解した後、解答・解答の根拠をノートに書く。Classi配信プリントも参考にしてください。 P39～P44 10. 動詞を含むイディオム P57～P61 14. 形容詞・副詞を含むイディオム P71～P74 17. 名詞を含むイディオム ※ノートに解答を書き、答え合わせをする。締め切り:最初の授業			

★課題への取り組み方★

- ・計画的に取り組みましょう。
- ・自分の力で問題を解きましょう。
- ・わからない問題がある場合は、教科書・参考書・辞書等の教材を使って調べましょう。
- ・弱点を明確にするため、答え合わせを丁寧にしましょう。
- ・間違えた場合、すぐに答えを写すのではなく、再度その問題を解きなおして理解を深めましょう。